

3 司書課程

司書教諭課程

■ 教育目標

建学の精神をふまえた芸術教育を柱に、読書・生涯学習・学校教育等に資する「司書」または「司書教諭」として、専門的知識・技能を修得した、社会に貢献できる人材を育成することを目標とする。

3-1 司書課程

1. 司書課程および図書館司書について

司書課程とは、図書館法第4条・第5条に基づき、公立図書館または私立図書館における専門的職務に従事する「司書」となる資格を取得するための課程です。司書資格を取得するには、同法施行規則に定める図書館に関する科目を、一定単位数修得しなければなりません。

司書は、主として公立図書館において、図書館資料の選択・収集、組織化、保存・提供という一連の業務を通じて、読書活動の推進、調査研究活動における情報収集および提供、集会・行事の企画・運営等を行います。また、大学図書館や専門図書館（企業や研究機関の情報サービス部門）、学校図書館においても、司書が採用されています。

図書館は、誰もが無料で利用でき、子どもから高齢者まで一人一人の要求に応じて読書や生涯学習を支援する、最も身近な社会教育施設です。近年は、コンピュータやインターネット環境の発展により、ウェブ情報や電子書籍へのニーズが高まる一方、「地域の情報拠点」としての図書館の役割が期待されるようになりました。司書に対しても、地域の課題や情報要求に的確に対応し、住民の課題解決を支援できる高度な知識と実践力が求められています。本学では、芸術に関する主題知識を基盤に、図書・視聴覚資料・電子情報などの多様なメディアに対応できる司書の養成を行います。

なお、平成20年6月の社会教育法等の一部改正、および平成21年4月の図書館法施行規則の一部改正を受けて、平成24年度から司書課程のカリキュラムおよび科目内容が改定されました。

2. 司書課程の履修について

(1) 対象学科と履修開始学年

司書課程は、全学科を対象に開講しています。

※ 資格課程は2年次から始めることを基本に時間割が作られています。したがって、3年次から始めると資格科目と学科専門科目の授業が重なりやすく、卒業時に資格を取得できない場合があります。できるだけ対応しますが、対応しきれない場合もあることを理解してください。4年次から始めたい者は教務課に相談してください。卒業と同時に資格が取得できなかった場合は、卒業後、科目等履修生として継続して資格取得を目指すことができます。

(2) 履修の手続

司書課程を履修するには、1年次に「図書館概論」(2単位)を修得した上で、2年次当初に実施する司書課程履修ガイダンスを受けてください。

その後、「司書課程／司書教諭課程履修届・誓約書」を提出し、定められた期間内に履修費(20,000円)を納入(銀行振込)しなければなりません。

なお、司書課程と司書教諭課程の両方を履修した場合でも、履修費は同額(20,000円)です。

3. 司書資格の取得について

司書資格の取得には、一定の基礎資格が必要であり、あわせて所定の科目について必要な単位を修得しなければなりません。

(1) 基礎資格

司書資格を取得するには、本学学則に従い学士の学位を有すること、すなわち、所定の卒業単位を修得することが必要です。

(2) 司書資格に関する科目

司書資格の取得を希望する者は、それぞれの学科で履修する専門教育科目のほかに、司書課程科目表に従って、1年次から4年次の間に12科目22単位の必須科目および2科目4単位の選択必須科目を修得しなければなりません。

(3) 科目に関する留意事項

① 図書館実習について

本学では、「図書館実習」（選択科目、4年次配当2単位）において、図書館実務実習と図書館見学実習を実施しています。学外の図書館での実習を含むため、安易な参加は許されません。したがって、履修に際しては充分考慮してください。

② その他の科目について

司書としてはコンピュータに関する知識・技能が要求されるため、教養科目の「情報処理概論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」は特に履修しておくことが望ましいです。

4. 司書資格の取得に関する証明書について

司書資格の取得に必要なすべての単位を修得した者には、本学より「司書資格取得証書」が与えられます。

5. 司書課程の辞退について

「司書課程／司書教諭課程履修届・誓約書」を提出した者が、何らかの事情により司書課程の履修を取りやめる場合は、辞退届を提出し、その旨を必ず届け出なければなりません。

6. 司書課程科目表

図書館法施行規則 第1条に定める科目	本 学 で の 開 講 科 目 名		年次別取得すべき単位数					備 考	
			1	2	3	4	計		
生涯学習概論	必 須 科 目	生涯学習論	2				2	注1	
図書館概論		図書館概論	2				2	※	
図書館制度・経営論		図書館制度・経営論		2			2		
図書館情報技術論		図書館情報技術論		2			2		
図書館サービス概論		図書館サービス論Ⅰ		2			2		
情報サービス論		情報サービス論		2			2		
児童サービス論		児童サービス論		2			2		
情報サービス演習		情報サービス演習Ⅰ				1	1		
		情報サービス演習Ⅱ				1	1		
図書館情報資源概論		図書館情報資源論Ⅰ		2			2		
情報資源組織論		情報資源組織論		2			2		
情報資源組織演習		情報資源組織演習				2	2		
計			4	14		4	22	22	
図書館基礎特論	選 択 必 須 科 目	図書館基礎特論			2		2	2科目4単位必須	
図書館サービス特論		図書館サービス論Ⅱ			2		2		
図書館情報資源特論		図書館情報資源論Ⅱ			2		2		
計					6		6	4	
図書館総合演習	選 択 科 目	図 書 館 実 習				2	2		
図書館実習						2	2		
計						2	2		
資格取得に必要な単位数								26	

※司書課程履修条件科目

注1.「生涯学習論」…教養科目です。

3-2 司書教諭課程

1. 司書教諭課程および学校図書館と司書教諭について

司書教諭課程とは、学校図書館法第5条に基づき、小・中・高等学校に設置された図書館（以下、学校図書館）の専門的職務を掌る「司書教諭」となる資格を取得するための課程です。司書教諭資格の取得には、教員免許状を有することに加え、学校図書館司書教諭講習規程に定める学校図書館に関する科目を、一定単位数修得しなければなりません。

学校図書館は、資料の選択・収集、組織化、保存・提供という一連の業務を通じて、児童・生徒の読書と学習活動を支援し、豊かな心を育み、教育課程の展開に寄与することを目的とする施設です。

近年、学校図書館の充実が強く求められており、平成9年の学校図書館法の一部改正によって、すべての公立学校（ただし12学級以上の小・中・高等学校と特別支援学校）に司書教諭の配置が義務付けられました。司書教諭は、学校図書館の事務職員ではなく、教科指導を担当しつつ、学校司書や他の教師と協力して学校図書館を運営し、その中心的な役割を果たします。また、教科学習において学校図書館の活用を働きかけたり、チーム・ティーチングなどの授業支援を行ったりもします。

学習指導要領では、学校図書館の計画的な利用を図ることに配慮すべきとされ、情報活用能力の育成や、探求型学習による言語活動の充実等が目指されています。これを実践につなげることも、司書教諭に求められる重要なはたらきです。

本学では、学校図書館と読書活動の重要性を学びつつ、新しい時代の学校教育にふさわしい司書教諭の育成を図ります。

2. 司書教諭課程の履修について

(1) 対象学科と履修開始学年

司書教諭資格の取得には小・中・高等学校の教員免許状が必要であるため、司書教諭課程を履修できるのは、美術学科、デザイン学科、工芸学科、文芸学科、音楽学科、演奏学科および初等芸術教育学科となります。

※ 資格課程は2年次から始めることを基本に時間割が作られています。したがって、3年次から始めると資格科目と学科専門科目の授業が重なりやすく、卒業時に資格を取得できない場合があります。できるだけ対応しますが、対応しきれない場合もあることを理解してください。4年次から始めたい者は教務課に相談してください。卒業と同時に資格が取得できなかった場合は、卒業後、科目等履修生として資格取得を目指すこともできます。

(2) 履修の手続

司書教諭課程を履修するには、2年次当初に実施する司書教諭課程履修ガイダンスを受けてください。

その後、「司書課程／司書教諭課程履修届・誓約書」を提出し、定められた期間内に履修費(20,000円)を納入(銀行振込)しなければなりません。

なお、司書教諭課程と司書課程の両方を履修した場合でも、履修費は同額(20,000円)です。

3. 司書教諭資格の取得について

司書教諭資格の取得には、一定の基礎資格が必要であり、あわせて所定の科目について必要な単位を修得しなければなりません。

(1) 基礎資格

司書教諭資格を取得するには、本学学則に従い学士の学位を有することのほか、小学校・中学校・高等学校のいずれかの教員免許状を取得することが必要です(幼稚園の教員免許状のみでは取得できません)。

(2) 司書教諭資格に関する科目

司書教諭資格の取得を希望する者は、それぞれの学科で履修する専門教育科目のほかに、司書教諭課程科目表に従って、2年次から4年次の間に5科目10単位の必須科目を修得しなければなりません。

(3) 科目に関する留意事項

① 図書館実習について

本学では、「図書館実習」(選択科目、4年次配当2単位)において、図書館実務実習と図書館見学実習を実施しています。学外の図書館での実習を含むため、安易な参加は許されません。したがって、履修に際しては充分考慮してください。

② 選択科目について

司書教諭課程科目表の中の選択科目は、司書資格取得のための科目ですが、司書教諭資格取得のためにも履修することが望ましいものです。

③ その他の科目について

司書教諭としてはコンピュータに関する知識・技能が要求されるため、教養科目の「情報処理概論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」は特に履修しておくことが望ましいです。

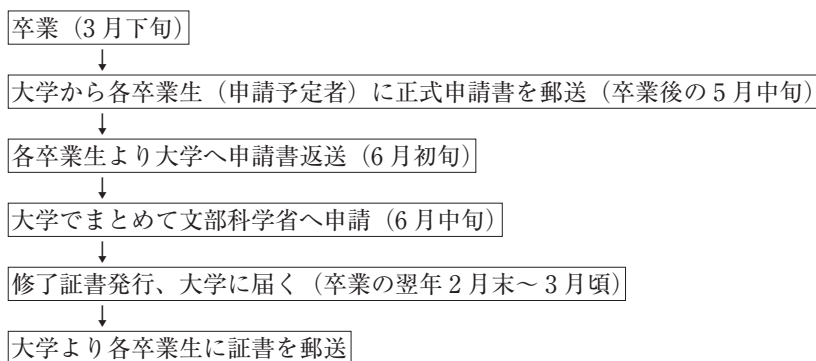
4. 司書教諭資格の取得に関する証明書について

司書教諭資格の取得に必要なすべての単位を修得し、あわせて教員免許状を取得した者で、所定の手続きを行った者に対しては、文部科学省より「学校図書館司書教諭講習修了証書」が交付されます。

該当者は、4年次後期に修了証書申請仮申込書を提出していただきます。提出時期は、掲示にて発表します（例年10月頃）。

さらに卒業後、下記に従って手続きを完了した者に、卒業年の翌年3月頃修了証書が発行されます。

修了証書申請の流れ



5. 司書教諭課程の辞退について

「司書課程／司書教諭課程履修届・誓約書」を提出した者が、何らかの事情により司書教諭課程の履修を取りやめる場合は、辞退届を提出し、その旨を必ず届け出なければなりません。

6. 司書教諭課程科目表

学校図書館司書教諭講習規定第3条に定める科目	本学での開講科目名		年次別取得すべき単位数					備考
			1	2	3	4	計	
学校経営と学校図書館	必須科目	学校経営と学校図書館		2			2	
学校図書館メディアの構成		学校図書館メディアの構成			2		2	
学習指導と学校図書館		学習指導と学校図書館			2		2	
読書と豊かな人間性		読書と豊かな人間性			2		2	
情報メディアの活用		情報メディアの活用			2		2	
計				4	6		10	10
	選択科目	生涯学習論	2				2	注1
		図書館基礎特論			2		2	
		図書館実習				2	2	
計			2		2	2	6	
資格取得に必要な単位数			10					

注1. 「生涯学習論」…教養科目です。